



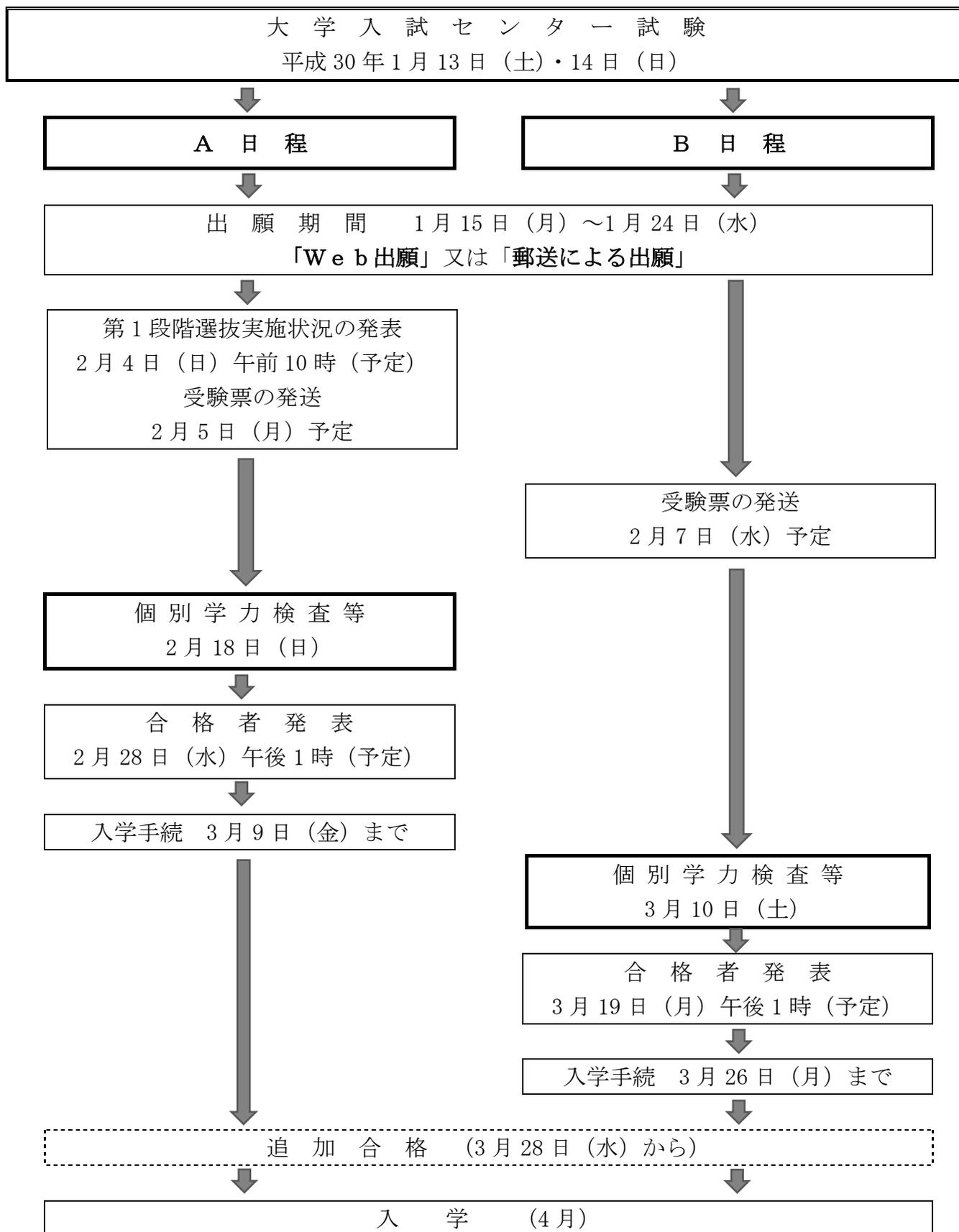
平成30年度 (2018年度)

学生募集要項

一般入試 (A日程・B日程)

公立小松大学

平成30年度 入学者選抜（一般入試）日程の概要



目 次

【共通事項（A日程・B日程）】

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	3
3. 出願資格	3
4. 試験実施方式等	4
(1) 入学者選抜方法	4
(2) 併願	4
5. 出願手続	5
(1) 出願期間	5
(2) 入学検定料	5
(3) 出願方法・出願書類等	7
① Web出願	7
② 郵送による出願	9
6. 受験票の発送	10
7. 受験及び就学上特別な配慮を必要とする者との事前相談	11
8. 調査書が提出できない者の取扱い	11
9. 欠員補充の方法	12

【A日程】

1. 入学者選抜方法等	13
(1) 2段階選抜の実施	13
(2) 実施教科・科目等	14
(3) 採点・評価基準（個別学力検査等）	19
(4) 試験期日・試験時間・試験会場	19
2. 合格者発表	20
3. 入学手続	20

【B日程】

1. 入学者選抜方法等	22
(1) 実施教科・科目等	22
(2) 採点・評価基準（個別学力検査等）	27
(3) 試験期日・試験時間・試験会場	27
2. 合格者発表	28
3. 入学手続	28

【その他】

1. 個人情報の取扱い	29
2. 入試情報の提供	29
3. 入学試験の個人成績の開示	30
4. 初年度学納金等	31
5. 問い合わせ先	31
6. 試験会場等所在地略図	32

【共通事項（A日程・B日程）】

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、基本理念である「地域と世界で活躍する人間性豊かなグローバル人材を育成する大学」「持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を革新し、異文化交流を推進する大学」「地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学」に共感し、十分な基礎学力とともに、次のような資質を有する学生を求める。

- 学習意欲と探究心を持って自己実現を目指す人
- 豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に寄与しようと努力する人
- 社会が抱える問題について主体的に学び、その解決に取り組む意欲のある人

【生産システム科学部生産システム科学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

- 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人
- サステイナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人
- 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人

【保健医療学部看護学科】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せ持つ次のような学生を求める。

- 人々の営みや健康問題に関心を持ち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
- 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人
- 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人

【保健医療学部臨床工学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

- 人の尊厳を重んじ、生命への高い関心と倫理観を有する人
- 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
- 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
- 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

【国際文化交流学部国際文化交流学科】

国際的視野から地域貢献を目指す人文社会学系の総合学部であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

- 南加賀地域及び北陸の発展に強い意欲を有する人
- 自国の文化に誇りをもち、国際社会とその文化的多様性を探求することを通じて、南加賀地域をはじめとする地域社会の発展に貢献できる人
- 海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人
- 地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人
- 問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

2. 募集人員

学部	学科	入学定員	入試区分と募集人員			
			一般入試		推薦入試	社会人入試
			A日程	B日程		
生産システム科学部	生産システム科学科	80人	45人	15人	20人	-
保健医療学部	看護学科	50人	30人	8人	12人	若干名*
	臨床工学科	30人	17人	5人	8人	若干名*
	計	80人	47人	13人	20人	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80人	35人	25人	20人	-
合計		240人	127人	53人	60人	若干名*
大学入試センター試験			課す		一般推薦は課す	

(注) 1. 推薦入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

2. 保健医療学部の社会人入試の募集人員(若干名*印)は、各学科の一般入試の内数とします。

3. 「-」印は、当該入試を実施しないことを示します。

3. 出願資格

次の①から③のいずれかに該当し、平成30年度大学入試センター試験において、志願する学部学科が課す全ての教科・科目(A日程は14~19ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(2) 実施教科・科目等」、B日程は22~27ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(1) 実施教科・科目等」)を受験した者

- ① 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者(次のアからカのいずれかに該当する者)

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号—大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定—）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達したもの
- ※ 上記出願資格「カ」により出願しようとする者は、出願に先立ち本要項 31 ページの「5. 問い合わせ先」へご照会ください。

4. 試験実施方式等

個別学力検査等は、「分離分割方式」及び「公立大学中期日程」とは異なる独自の日程（A 日程、B 日程）で実施します。これにより、本学の A 日程及び B 日程と他の国公立大学の前期日程、後期日程及び他の公立大学の中期日程を併せて、すべて受験することが可能となります。

（1）入学者選抜方法

入学者の選抜は、平成 30 年度大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。また、調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

また、大学入試センター試験の成績については、複数年度の利用をしませんので、平成 30 年度大学入試センター試験を必ず受験してください。

① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細は、A 日程は本要項 14～19 ページを、B 日程は本要項 22～27 ページの各項目をそれぞれ参照してください。

② 大学入試センター試験で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目等（外国語の英語ではリスニングを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。

また、個別学力検査等で、志願する学部学科が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

（2）併願

志願者は、本学で実施する A 日程と B 日程で同じ学部学科又は異なる学部学科に出願することができます。この場合、本学の A 日程に合格し、入学手続を行った者は、B 日程を受験してもその合格者とはなりません。

また、A 日程と A 日程、B 日程と B 日程の併願はできません。

5. 出願手続

出願手続は、「Web出願」及び「郵送による出願」の2通りがあります。

志願者は、いずれか一方を選んで出願してください。

(1) 出願期間

「Web出願」及び「郵送による出願」のいずれの場合も、以下のとおりです。

平成30年1月15日(月)～1月24日(水)午後5時 必着

出願書類は、郵送(速達書留郵便に限る。)するものとし、**平成30年1月24日(水)午後5時まで**に必着とします。ただし、**Web出願においても期間内に出願書類の郵送が必要です**。出願期間後に到着した出願書類のうち、平成30年1月23日(火)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

※ 「Web出願」は、出願期間中に、Web出願による登録と入学検定料の納入を済ませ、かつ、出願書類が本学に到着していなければなりません。

(2) 入学検定料

入学検定料 17,000円

入学検定料の支払方法は、次のとおりです。

① Web出願

出願登録の際に、画面の指示に従い検定料の支払方法を次の中から選択して支払うことができます。詳しい方法は、出願を行う際にWeb出願システム上の「入学検定料の支払方法について」の項目を確認してください。

※ クレジットカードは使用できません。

※ 支払手数料は志願者負担となります。

※ 検定料の支払い後は、領収書・利用明細書等を受け取って保管しておいてください。

ア コンビニエンスストア

出願登録内容の登録後に表示される支払いに必要な番号を控えて、次のコンビニエンスストアで支払うことができます。

セブン・イレブン、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、スリーエフ、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルK・サンクス、セイコーマート

イ ペイジー対応銀行ATM

出願登録内容の登録後に表示される支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上、支払うことができます。

利用可能な銀行は、「支払い方法選択」画面で確認してください。

ウ ネットバンキング

出願登録内容の登録後、利用画面からそのまま各金融機関のページへ移動しますので、画面の指示に従って操作し、支払うことができます。

なお、利用には、決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。

② 郵送による出願

本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫、信用組合、農協、漁協）窓口から振込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。

※ 金融機関の窓口受付終了時刻までに振込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。

※ ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。
なお、「領収書（本人控）」は、大切に保管しておいてください。

【入学検定料の返還について】

一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 検定料を払い込んだが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、17,000 円を返還します。

イ 検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000 円を返還します。

ウ 検定料を多く払い込んだ場合は、多く払い込んだ額を返還します。

エ 出願受付後、本学が課す大学入試センター試験受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合は、13,000 円を返還します。この場合は、本学から該当者に通知するとともに手続書類を送付します。

オ A日程に出願した者で、2段階選抜を実施したことに伴い、第1段階選抜で不合格となった場合は、13,000 円を返還します。この場合は、本学から該当者に通知するとともに手続書類を送付します。

※ 上記「ア」～「ウ」に該当する場合は、本要項 31 ページの「5. 問い合わせ先」に平成 30 年 2 月 28 日（水）までに連絡してください。

なお、返還手続の際は、領収書、利用明細書が必要になります。

(3) 出願方法・出願書類等

① Web出願

(「郵送による出願」希望者は、本要項9ページからの説明により手続きしてください。)

Web出願の流れは、以下のとおりとなります。(A日程とB日程の両方を出願する場合は、それぞれの試験日程について、出願登録する必要があります。)

※ 登録が完了した場合は、内容の修正・変更はできません。誤った内容を登録した場合は、入学検定料の支払いを行わず、新たに登録し直してください。

出願の流れ	摘 要
STEP 1 事前準備	<p>① Webが利用できるパソコン等の準備 学校や図書館等の自宅外のパソコンからも出願できます。</p> <p>② プリンタの準備 出願システムの登録完了画面から、ダウンロードできる「送付用宛名」シート及び「Web入学志願書」等を印刷する際に必要となります。</p> <p>③ 必要書類の準備 本要項8ページの「出願に必要な書類等」を参照してください。</p> <p>④ 長形3号の封筒の準備 受験票送付用の封筒として、市販の長形3号封筒を準備してください。</p> <p>⑤ 角形2号の封筒の準備 出願書類送付用の封筒として、市販の角形2号封筒を準備してください。</p> <p>※ 上記④・⑤について、学生募集要項に添付された封筒も使用可能です。</p>
STEP 2 Web出願サイトにアクセス	<p>次のいずれからでもアクセスできます。</p> <p>○Web出願サイト http://e-apply.jp/e/komatsu-u/</p> <p>○本学ホームページ http://www.komatsu-u.jp/</p>
STEP 3 出願内容の登録	<p>画面の案内に従い、出願者情報等の内容を登録します。</p> <p>○出願者の登録 ○出願する入試区分情報の登録</p> <p>○個人情報の登録 (写真のアップロードを含みます。)</p> <p>最後に、登録した内容の確認を行ってください。</p>
STEP 4 入学検定料の支払い	<p>画面の案内に従い、検定料の納入方法を次の中から選択してください。</p> <p>コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行ATM、 ネットバンキング (クレジットカードは使用できません。)</p> <p>詳細は、本要項の5ページ「5. (2)入学検定料」を参照してください。</p>

STEP 5 送付用宛名シート 及び出願書類の印刷	<p>出願登録完了画面から、以下を印刷してください。</p> <p>○送付用宛名シート 2枚(市販の長形3号及び角形2号の封筒を使用する場合)</p> <p>○Web入学志願書、受験票、写真票</p> <p>○出願書類封入確認シート(市販の角形2号封筒を使用する場合)</p>
STEP 6 出願書類の郵送	<p>表面に送付用宛名シート、裏面に「出願書類封入確認シート」を貼り付けた角形2号の封筒又は学生募集要項に添付された封筒に、出願書類を一括封入して、書留速達郵便で本学へ郵送してください。</p>

【出願に必要な書類等】

志願者は、以下の出願書類(①～④及び必要に応じて提出する書類)を一括して封入し、出願期間内に本学へ書留速達郵便で郵送してください。

提出先 〒923-8799 日本郵便株式会社小松郵便局留

小松市総合政策部 公立大学設立準備室

なお、書留速達郵便で郵送した出願封筒について、本学への到着(配達)の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

出願書類		摘要
①	Web入学志願書	<p>出願登録後に印刷(A4判)して提出します。</p> <p>「平成30センター試験成績請求票(私・短)私立大学・公私立短期大学用」(再交付を受けた場合は再交付された成績請求票)を「Web入学志願書」の所定欄(A日程とB日程の両方を「出願」する場合は、それぞれ)にのり付けして貼り付けてください。</p>
②	写真票	<p>出願登録時に画像ファイルをアップロードします。</p> <p>出願登録後に写真票を印刷(A4判)して提出します。</p> <p>写真(無帽・無背景上半身正面、出願前3か月以内に撮影したもの、カラー・白黒いずれも可。)</p>
	受験票	<p>出願登録後に受験票を印刷(A4判)して提出します。</p>
③	受験票送付用封筒	<p>受験票送付用宛名シートを貼った市販の長形3号封筒(120mm×235mm)又は学生募集要項に添付された封筒を準備してください。</p> <p>志願者に確実に届く住所を記入し、必ず速達料金(372円分)の切手を貼り付けて提出してください。</p>

④	調査書	<p>文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>ただし、指導要録等の保存期間が経過して調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定試験を含む。)の合格者、その他調査書を得られない者は、本要項 11 ページの「8. 調査書が提出できない者の取扱い」を参照してください。</p> <p>なお、調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面(戸籍抄本等)を提出してください。</p>
---	-----	--

② 郵送による出願

志願者は、以下の「出願に必要な書類等(①～④及び必要に応じて提出する書類)」を一括して本要項に添付の入学願書提出用封筒(A日程志願者はA日程用封筒、B日程志願者はB日程用封筒)に入れ、出願期間内に本学へ書留速達郵便で郵送してください。

提出先 〒923-8799 日本郵便株式会社小松郵便局留

小松市総合政策部 公立大学設立準備室(封筒に印字してあります。)

なお、書留速達郵便で郵送した出願封筒について、本学への到着(配達)の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

【出願に必要な書類等】

	出願書類	摘 要
①	入学志願書	<p>本学所定の用紙を使用し、添付された記入例に従い受験者本人が記入してください。</p> <p>「平成 30 センター試験成績請求票^{私・短}私立大学・公私立短期大学用」(再交付を受けた場合は再交付された成績請求票)を入学志願書の所定欄(A日程とB日程の両方を出願する場合は、それぞれ)にのり付けして貼り付けてください。</p>
	写真票	<p>写真票の所定欄に、写真(無帽・無背景上半身正面、出願前3か月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志願学科名及び氏名を明記)を貼り付けてください。</p>
	受験票	<p>本学所定の用紙によります。</p>
	入学検定料振込金証明書貼付用紙	<p>入学検定料振込後、「振込金証明書(提出用)」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼ってください。</p> <p>「領収書(本人控)」は大切に保管してください。</p> <p>納入方法は本要項5ページの「5.(2)入学検定料」を参照してください。</p>

③	受験票送付用封筒	出願受付後、本封筒により受験票等を送付しますので封筒には確実に届く住所を記入し、必ず速達料金（372 円分）の切手を貼ってください。
④	調査書	<p>文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>ただし、指導要録等の保存期間が経過して調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験を含む。）の合格者、その他調査書を得られない者は、本要項 11 ページの「8. 調査書が提出できない者の取扱い」を参照してください。</p> <p>なお、調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）を提出してください。</p>

6. 受験票の発送

(1) A 日程

受験票は、第 1 段階選抜を実施した場合はその合格者に、また、実施しなかった場合は志願者全員に、実施結果の通知及び受験上の注意事項等とともに次の日程で発送します。

平成 30 年 2 月 5 日（月）予定

2 月 8 日（木）正午までに第 1 段階選抜の実施結果通知が届かない場合は、以下の連絡先へ連絡してください。

また、2 段階選抜については、本要項 13 ページの「1. (1)2 段階選抜の実施」を参照してください。

(2) B 日程

受験票は、志願者全員に、受験上の注意事項等とともに次の日程で発送します。

平成 30 年 2 月 7 日（水）予定

2 月 13 日（火）までに受験票が届かない場合は、以下の連絡先へ連絡してください。

(3) 受験票等の保管

「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等の受験及び入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管してください。

(4) 連絡先

小松市総合政策部 公立大学設立準備室（電話：0761-44-3530）

7. 受験及び就学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に相談書等をメール又は郵送で提出し、相談してください。

(1) 相談締切日

平成30年1月9日(火)まで

(2) 提出書類

事前相談書 (下記の事項を記載してください。様式は問いません。)

- ① 志願者氏名
- ② 連絡先
- ③ 障がいの種類・程度
- ④ 志願する学部学科、受験する入試区分
- ⑤ 受験・就学において配慮を希望する事項
- ⑥ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
- ⑦ 日常生活の状況

(3) 相談先・書類提出先

小松市総合政策部 公立大学設立準備室

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3 小松短期大学内

電話：0761-44-3530 (平日午前9時から午後5時まで)

E-mail：nyushi@city.komatsu.lg.jp

8. 調査書が提出できない者の取扱い

(1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者

指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、次によってください。

- ① 卒業後5年を経過した場合
卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類(単位修得証明書等)
- ② 卒業後20年を経過した場合
卒業証明書、成績通信簿(原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類。これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書
- ③ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合
卒業証明書、成績通信簿(原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書

※ 成績通信簿(原本)を提出する場合は、後日お返しします。

(2) その他の者

- ① 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験を含む。）の合格者は、合格した科目の成績が記載された合格成績証明書を調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目（大学入学資格検定試験の科目を含む。）を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書（出身高等学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。
- ② 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについて、教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。
- ④ 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。
- ⑤ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は、修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。
- ⑥ 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「公立小松大学入学資格認定書」の写しを提出してください。

9. 欠員補充の方法

(1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日（水）以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、入学志願書の「通知等を受ける場所」へ電話により直接行いますので、不在にする場合も連絡がとれるように手配してください。

なお、合格候補者には、資格及び入学の意志を確認のうえ、文書による通知を行います。

また、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員がある場合は、欠員補充のための第2次募集を行います。

実施する場合は、本学ホームページに掲載するとともに報道機関に発表します。

大学ホームページ <http://www.komatsu-u.jp/>

【 A 日 程 】

1. 入学者選抜方法等

A日程の個別学力検査等は、次のとおり実施します。

(1) 2段階選抜の実施

A日程の試験を実施する3学部4学科（生産システム科学部生産システム科学科、保健医療学部看護学科及び臨床工学科、国際文化交流学部国際文化交流学科）の志願者数が募集人員に対する予告倍率（10倍程度）を超えた場合には、試験を適切に行うことが困難であると想定されることから、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。

その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

① 第1段階選抜実施状況の発表

第1段階選抜実施の有無については、次のとおり発表します。

発表日時：平成30年2月4日（日）午前10時（予定）

発表場所：中央キャンパス 石川県小松市土居原町10番地10

公立小松大学のホームページ <http://www.komatsu-u.jp>

② 第1段階選抜についての通知

第1段階選抜の実施の有無及び実施結果（合格又は不合格）は、志願者全員に郵送で通知します。

ア 第1段階選抜を実施した場合

志願者全員に郵送で実施結果（合格又は不合格）を通知します。

合格者には、「受験票」等を同封します。

不合格者には、入学検定料返還手続に必要な書類を同封します。

イ 第1段階選抜を実施しなかった場合

実施しなかった旨を発表するとともに、志願者全員にその旨の通知と「受験票」等を送付します。

※ 合否の問い合わせには応じません。

※ 上記「ア」及び「イ」の結果通知書が平成30年2月8日（木）正午を過ぎても到着しない場合は、小松市総合政策部公立大学設立準備室（電話：0761-44-3530）へ連絡してください。

(2) 実施教科・科目等

- ① 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ② 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。
- 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」… それぞれの全範囲を出題範囲とします。
- 「数学B」 …………… 「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」 … 「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
- ③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について
- ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。
- ただし、『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学部学科において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学部学科において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。）
- （大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
- イ 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学部学科については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ウ 大学入試センター試験の「英語」は、筆記試験とリスニングテストを利用します。
- なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の英語については、筆記試験の得点をそのまま利用します。ただし、国際文化交流学部については、得点を所定の配点に傾斜配点します。
- ④ 大学入試センター試験で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。
- また、個別学力検査等で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。
- ⑤ 各学部学科の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてあります。必ず参照してください。

【生産システム科学部生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	45人	国語	「国語」	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理
		地歴 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から1科目	理科	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目		
		理科	「物理」		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[5教科6科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	100	50		200 100×2	100	200			650
	個別試験				300	300				600
	計	100	50		500	400	200			1,250

大学入試センター試験の注意事項

- 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
- 『「地理歴史」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
また、素点100点満点を傾斜配点で50点とします。
- 「理科」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が物理以外の場合は失格となります。）
- 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【保健医療学部看護学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	30人	国語	「国語」	その他	面接（集団） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評定します。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から 1 科目		
		数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」から 1 科目		
			「数学 II」、「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1 科目		
		理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から 2 科目 又は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 1 科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
[5教科6科目]又は[5教科7科目]					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	150	100		100 50×2	100	200			650
	個別試験								100	100
	計	150	100		100	100	200		100	750

大学入試センター試験の注意事項

- 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点で 150 点とします。
- 『「地理歴史」「公民」』で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
- 「数学」は、2 科目とも素点 100 点満点を傾斜配点で 50 点とし、合わせて 100 点とします。
- 「理科」で基礎を付した科目 2 科目の合計、又は基礎を付さない科目（2 科目受験している場合は第 1 解答科目）のうち、高得点の成績を利用します。
- 「英語」は、筆記試験（素点 200 点満点）とリスニングテスト（素点 50 点満点）の合計点（250 点）を傾斜配点で 200 点とします。

【保健医療学部臨床工学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	17人	国語	「国語」	その他	小論文 人間、社会、健康、 自然等に関する課 題について、論述 することを求めま す。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から1科目		
		数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目	その他	面接（集団） 多面的な質問を行 い、勉強意欲と資 質・適性を評定し ます。
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
				[5教科7科目]	

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	100	100		200 100×2	200 100×2	200			800
	個別試験							100	100	200
	計	100	100		200	200	200	100	100	1,000

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
2. 『「地理歴史」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【国際文化交流学部国際文化交流学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	35人	国語	「国語」	その他	小論文 社会、歴史、文化、 言葉等に関する英 語と日本語の文章 を一つずつ提示 し、それぞれにつ いて文章理解に基 づく論述をさせま す。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から2科目 〔ただし、「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」のうち1科目以上を含むこと〕		
		数学 理科	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から1科目 〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生 物基礎」、「地学基礎」）については、2科目の受験で1科目 とみなす。〕		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[4教科5科目]、[4教科6科目]、 [5教科5科目]又は[5教科6科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	200	200	100×2	100		250			750
	個別試験							250		250
	計	200	200		100		250	250		1,000

大学入試センター試験の注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（2科目受験している場合は第1解答科目）及び「数学」のうち、高得点の成績を利用します。

(3) 採点・評価基準（個別学力検査等）

個別学力検査等では、次の点について評価等を行います。

学部	学科	教科等名	留意している点等
生産システム 科学部	生産システム 科学科	数 学	問題についての理解力と正解に至るまでの考え方およびそれを表現する力を評価します。
		物 理	物理の基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部	看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価します。
	臨床工学科	小論文	論理的思考力と文章による表現力を評価します。
		面 接	思考力、判断力、表現力、協調性、積極性などを総合的に評価します。
国際文化交流 学部	国際文化交流 学科	小論文	英語・日本語の理解力、日本語の表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

(4) 試験期日・試験時間・試験会場

① 試験期日

平成30年2月18日（日）

② 試験時間

学部	学科	試験科目	試験時間
生産システム科学部	生産システム科学科	数 学	10：00～11：30
		物 理	13：00～14：40
保健医療学部	看護学科	面 接	9：00～
	臨床工学科	小論文	10：00～11：00
		面 接	12：30～
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	10：00～12：00

③ 試験会場

ア 試験会場は、次のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験会場を変更することがあります。

学部	学科	試験会場（予定）
生産システム科学部	生産システム科学科	小松市立南部中学校
保健医療学部	看護学科	こまつ看護学校
	臨床工学科	小松市立芦城中学校
国際文化交流学部	国際文化交流学科	中央キャンパス、 サイエンスヒルズこまつ

イ 試験会場案内等の発送日

平成30年2月5日（月） 予定

※ 第1段階選抜を実施した場合

第1段階選抜の合格者に第1段階選抜結果通知書と併せて「受験票」、「試験会場案内」及び「受験上の注意」を送付します。

※ 第1段階選抜を実施しなかった場合

志願者全員に実施しなかった旨の通知書と併せて「受験票」、「試験会場案内」及び「受験上の注意」を送付します。

ウ 試験会場の下見について、2月17日（土）午後1時以降に試験会場入口に試験室案内等を掲示します。

エ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。

2. 合格者発表

A日程合格者の受験番号を次のとおり発表します。

なお、合格者には、合格通知書、入学手続要項を送付します。

発表日時 平成30年2月28日（水）午後1時（予定）

発表場所 中央キャンパス 石川県小松市土居原町10番地10

大学ホームページ <http://www.komatsu-u.jp/>

※ 合否の問い合わせには応じません。

3. 入学手続

入学手続期限等の概要は、次のとおりです。

また、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

（1）入学手続期限

平成30年3月9日（金）までに郵送してください。 ※必着

（持込みの場合は、3月9日（金）のみ受付 午前9時～午後5時）

（2）入学料

市内学生 282,000円

その他 423,000円

※ 「市内学生」とは、次のいずれかに該当する者を示します。

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き1親等の親族が小松市内に住所を有している者

※ 納入した入学金は返還しません。

(3) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものととして取扱います。
- ② 「A日程」に合格し、3月9日（金）までに入学手続を行った者は、「B日程」を受験してもその合格者とはなりません。
- ③ 入学時に必要な経費等は、本要項 31 ページの「4. 初年度学納金等」を参照してください。

【 B 日 程 】

1. 入学者選抜方法等

B日程の個別学力検査等は、次のとおり実施します。

(1) 実施教科・科目等

- ① 個別学力検査の「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。

「物理基礎・物理」 … 「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

- ② 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、「理科」の受験科目を1科目と指定した学部学科において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。(第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。)

(大学入試センター試験の「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

イ 大学入試センター試験で「数学」2科目を課す学部学科については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

ウ 大学入試センター試験の「英語」は、筆記試験とリスニングテストを利用します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の英語については、筆記試験の得点をそのまま利用します。ただし、国際文化交流学部については、得点を所定の配点に傾斜配点します。

- ③ 大学入試センター試験で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。

また、個別学力検査等で、志願する学部学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。

- ④ 各学部学科の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてあります。必ず参照してください。

【生産システム科学部生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
B日程	15人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目 ----- 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目	理科	物理基礎・物理
		理科	「物理」		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		----- [3教科4科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
B日程	センター試験				200 100×2	100	200			500
	個別試験					400				400
	計				200	500	200			900

大学入試センター試験の注意事項

1. 「理科」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が物理以外の場合は失格となります。）
2. 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【保健医療学部看護学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
B 日 程	8人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行 い、勉学意欲と資 質・適性を評定し ます。
			「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科 目又は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目		
			外国語		
[3教科4科目]又は[3教科5科目]					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
B 日 程	センター試験				100 50×2	100	200			400
	個別試験								200	200
	計				100	100	200		200	600

大学入試センター試験の注意事項

- 「数学」は、2科目ともに素点100点満点を傾斜配点で50点とし、合わせて100点とします。
- 「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（2科目受験している場合は第1解答科目）のうち、高得点の成績を利用します。
- 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計得点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【保健医療学部臨床工学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
B 日程	5人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行 い、勉学意欲と資 質・適性を評定し ます。
			「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目		
		外国語	「英語」（リスニング含む）		
			[3教科5科目]		

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
B 日程	センター試験				200 100×2	200 100×2	200			600
	個別試験								200	200
	計				200	200	200		200	800

大学入試センター試験の注意事項

1. 「英語」は、筆記試験（素点 200 点満点）とリスニングテスト（素点 50 点満点）の合計点（250 点）を傾斜配点で 200 点とします。

【国際文化交流学部国際文化交流学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
B 日 程	25人	国語	「国語」	その他	小論文 社会、歴史、文化、 言葉等に関する日 本語の文章を二つ 提示し、それぞれ について文章理解 に基づく論述をさ せます。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から 2 科目 〔ただし、「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」のうち 1 科目以上を含むこと〕		
		数学 理科	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から 1 科目 〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生 物基礎」、「地学基礎」）については、2 科目の受験で 1 科目 とみなす。〕		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
[4 教科 5 科目]、[4 教科 5 科目]、 [5 教科 5 科目]又は[5 教科 6 科目]					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
B 日程	センター試験	200	200		100		250			750
			100×2							
	個別試験							250		250
	計	200	200		100		250	250		1,000

大学入試センター試験の注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で基礎を付した科目 2 科目の合計、又は基礎を付さない科目（2 科目受験している場合は第 1 解答科目）及び「数学」のうち、高得点の成績を利用します。

(2) 採点・評価基準（個別学力検査等）

個別学力検査等では、次の点について評価等を行います。

学部	学科	教科等名	留意している点等
生産システム科学部	生産システム科学科	物 理	物理の問題を出題し、基本概念の理解度と応用力を評価します。
保健医療学部	看護学科	面 接	医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、対人能力、論理的思考力等を評定し、それらを総合的に評価します。
	臨床工学科	面 接	思考力、判断力、表現力、協調性、積極性などを総合的に評価します。
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	日本語の理解力と表現力、論理的思考力等を総合的に判断します。

(3) 試験期日・試験時間・試験会場

① 試験期日

平成 30 年 3 月 10 日（土）

② 試験時間

学部	学科	試験科目	試験時間
生産システム科学部	生産システム科学科	物 理	10：00～11：40
保健医療学部	看護学科	面 接	9：00～
	臨床工学科	面 接	9：00～
国際文化交流学部	国際文化交流学科	小論文	10：00～12：00

③ 試験会場

ア 試験会場は、次のとおり予定しています。ただし、志願者数によっては試験会場を変更することがあります。

学部	学科	試験会場（予定）
生産システム科学部	生産システム科学科	小松短期大学
保健医療学部	看護学科	こまつ看護学校
	臨床工学科	
国際文化交流学部	国際文化交流学科	中央キャンパス、サイエンスヒルズこまつ

イ 試験会場案内等の発送日

平成 30 年 2 月 7 日（水）予定

志願者全員に、受験票とともに「試験会場案内」及び「受験上の注意」を送付します。

ウ 試験会場の下見について、3月9日（金）午後1時以降に試験会場入口に試験室案内等を掲示します。

エ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。

2. 合格者発表

B日程合格者の受験番号を次のとおり発表します。

なお、合格者には、合格通知書、入学手続要項を送付します。

発表日時 平成30年3月19日（月）午後1時（予定）

発表場所 中央キャンパス 石川県小松市土居原町10番地10

大学ホームページ <http://www.komatsu-u.jp/>

※ 可否の問い合わせには応じません。

3. 入学手続

入学手続期限等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

（1）入学手続期限

平成30年3月26日（月）までに郵送してください。 ※必着

（持込みの場合は、3月26日（月）のみ受付 午前9時～午後5時）

（2）入学料

市内学生 282,000円

その他 423,000円

※ 「市内学生」とは、次のいずれかに該当する者を示します。

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き1親等の親族が小松市内に住所を有している者

※ 納入した入学金は返還しません。

（3）留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものととして取扱います。
- ② 入学時に必要な経費等は、本要項31ページの「4. 初年度学納金等」を参照してください。

【その他】

1. 個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めます。

入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- ① 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- ② 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- ③ 入学後のポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出の学内サービス業務
- ④ 奨学金選考等の就学支援に関わる業務
- ⑤ 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- ⑥ 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- ⑦ 卒業生に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会活動への支援等に関する業務
- ⑧ その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

2. 入試情報の提供

入学者選抜試験に関する情報を公立小松大学ホームページで提供します。

大学ホームページ <http://www.komatsu-u.jp/>

期 間	内 容
平成30年1月15日（月）～3月30日（金）	出願状況（学部学科毎の志願者数、倍率）
平成30年2月4日（日）午前10時 ～2月19日（月）	A日程第1段階選抜実施状況
平成30年2月28日（水）午後1時 ～3月30日（金）	A日程合格者発表（受験番号のみ）
平成30年3月19日（月）午後1時 ～3月30日（金）	B日程合格者発表（受験番号のみ）
平成30年5月中	志願者、受験者、合格者及び入学者数

3. 入学試験の個人成績の開示

受験者本人からの成績開示請求を受けて、本人の平成30年度入学者選抜試験の個人成績を不合格者に限り開示します。

(1) 開示請求受付期間

平成30年5月1日(火)～5月31日(木) ※必着

請求書類の提出は、郵送のみとします。

(2) 請求方法

① 様式は任意とし、次の内容を記載の上、請求してください。

平成30年度入学者選抜試験(○日程)の個人成績を請求すること、請求日、氏名、受験番号及び連絡先電話番号を明記し、本学受験票(写し不可)を添付してください。

② 返信用封筒(長形3号:120mm×235mm)に郵便切手392円分(簡易書留料金)を貼付し、封筒には請求者に確実に届く郵送先を明記してください。

③ 開示請求先

公立小松大学 粟津キャンパス 入試担当あて

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

(3) 開示内容

以下の内容について、書面により回答します。

○ 本学が利用した大学入試センター試験の科目ごとの得点及び合計点

○ 本学が実施した個別学力検査等の科目ごとの得点及び合計点

(4) 開示時期

開示請求受付後、1か月を目安に返信用封筒を使用して本学受験票とともに返送します。

(5) その他

不明な点がありましたら、以下へお問い合わせください。

公立小松大学

電話:0761-44-3530 (受付時間:平日午前9時～午後5時)

4. 初年度学納金等

初年度学納金等は、次の通り予定しています。

(1) 入学料

市内学生 282,000 円

その他 423,000 円

※ 「市内学生」とは、次のいずれかに該当する者を示します。

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者

○ 入学前年の4月1日以前から引き続き1親等の親族が小松市内に住所を有している者

※ 納入した入学金は返還いたしません。

(2) 授業料

授業料（年額） 585,800 円

(3) その他

○ 実習費（年間） 50,000 円（教育充実費：生産システム科学部及び保健医療学部）

実習費は、教育研究のための研究設備や実験、実習のための経費の一部となります。実習衣、教科書代等は含まれていません。

○ 入学時までにはノート型パソコンが必要となります。

○ 学生教育研究災害障害保険への加入費等が必要となります。

5. 問い合わせ先

電話での問い合わせは、平日（月曜日から金曜日）午前9時から午後5時の間をお願いします。

小松市総合政策部 公立大学設立準備室

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3 小松短期大学内

電話 0761-44-3530

E-mail nyushi@city.komatsu.lg.jp

※ 不測の事態が発生した場合の情報提供

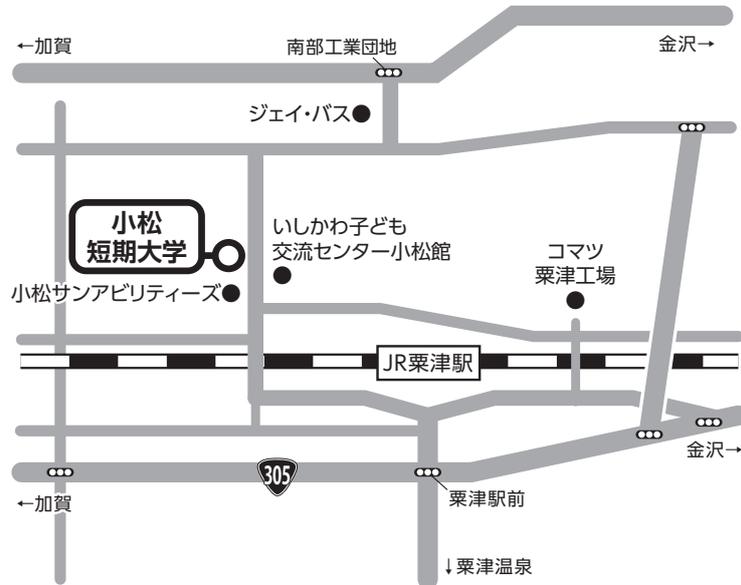
降雪等の不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学のWebサイトに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意してください。

公立小松大学ホームページ <http://www.komatsu-u.jp/>

6. 試験会場等所在地略図

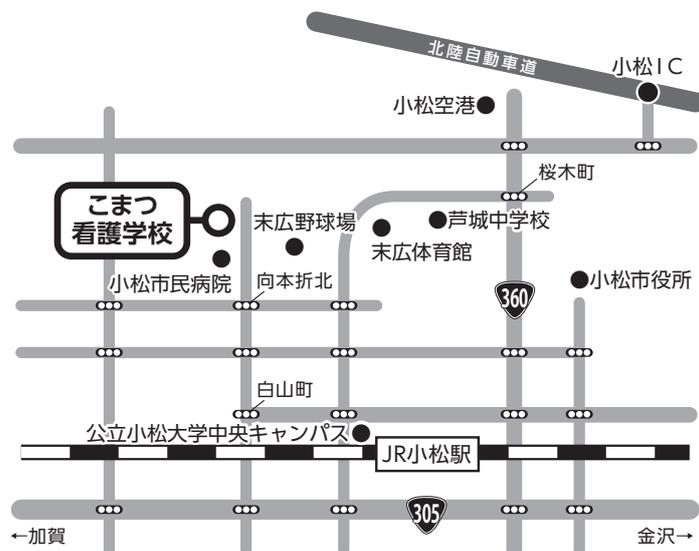
(1) 小松短期大学

- ① 所在地 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3
- ② アクセス JR粟津駅から徒歩約12分
- ③ 実施学部学科 B日程 生産システム科学部 生産システム科学科



(2) こまつ看護学校

- ① 所在地 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1
- ② アクセス ○ JR小松駅から小松バス市内循環線で「小松市民病院」下車（所要時間約7分）で徒歩約3分
○ JR小松駅から徒歩約23分
- ③ 実施学部学科 A日程 保健医療学部 看護学科
B日程 保健医療学部 看護学科及び臨床工学科



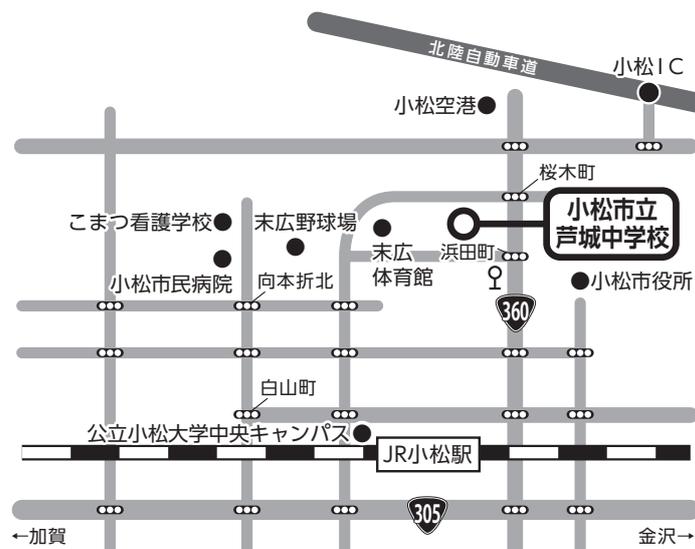
(3) 小松市立南部中学校

- ① 所在地 〒923-0303 石川県小松市島町ヌ 43 番地
- ② アクセス JR粟津駅から徒歩約 10 分
- ③ 実施学部学科 A日程 生産システム科学部 生産システム科学科



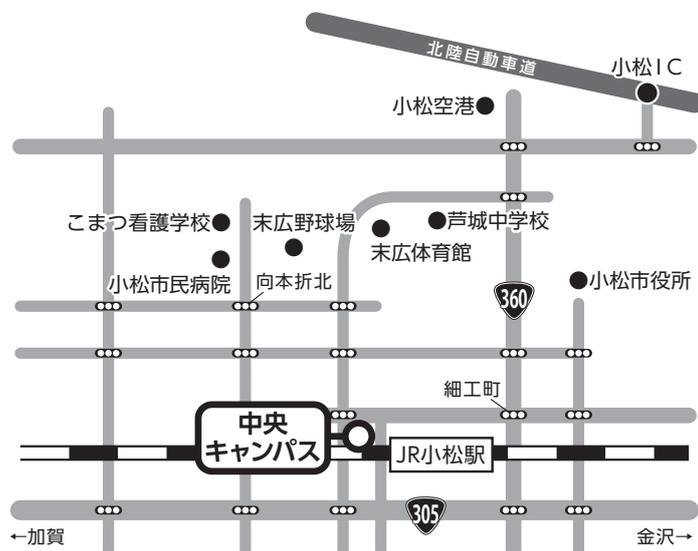
(4) 小松市立芦城中学校

- ① 所在地 〒923-0938 石川県小松市芦田町二丁目 69 番地
- ② アクセス JR小松駅から空港線で浜田町バス停下車 (所要時間約 2 分)、徒歩約 5 分
JR小松駅から徒歩約 12 分
- ③ 実施学部学科 A日程 保健医療学部 臨床工学科



(5) 公立小松大学 中央キャンパス

- ① 所在地 〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10 (こまつA×Zスクエア)
- ② アクセス JR小松駅から徒歩約3分
- ③ 実施学部学科 A日程 国際文化交流学部 国際文化交流学科
B日程 国際文化交流学部 国際文化交流学科



(6) サイエンスヒルズこまつ

- ① 所在地 〒923-8610 石川県小松市こまつのだ 2 番地
- ② アクセス JR小松駅から徒歩約3分
- ③ 実施学部学科 A日程 国際文化交流学部 国際文化交流学科
B日程 国際文化交流学部 国際文化交流学科



平成30年度(2018年度)
公立小松大学入学志願書(A日程)

※受験番号

※印欄は記入しないでください。

志願学部 ・学科	学部		学科
ふりがな	生年月日	昭和・平成	年 月 日生
志願者 氏名	性別	男・女	
電話番号	自宅 () -	携帯 () -	
通知を 受ける 住所	〒 - 都道 市区 府県 郡		
学校名	都道 立 府県	学科	普通科・理数科・農業科・工業科・ 商業科・総合学科・()
	高等学校 学 校		昭和・平成 年 月
保 護 者 連 絡 先	ふりがな	本人との続柄	<input type="checkbox"/> 卒業見込
	保護者 氏名		<input type="checkbox"/> 高校卒業
	住所		<input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験(大検含む)合格
	電話番号		<input type="checkbox"/> その他()
	〒 -	都道 市区 府県 郡	
	自宅 () -	携帯 () -	

平成30年大学入試センター試験成績請求票
(※ 以下の枠にのり付けしてください。)

私・短
平成30センター試験成績請求票
私立大学・公私立短期大学用
貼付欄



※成績請求票のとおり、転記してください

試験場コード	受験番号	発行回数
□□□□□□□□	□□□□□□□□	□

※ 本学以外の国公立大学を受験する予定の方は、以下に受験予定大学名の記入にご協力をお願いいたします。

併願大学	大 学	大 学	大 学
------	-----	-----	-----

<記入上の注意>

- 1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- 2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

入学志願書（A日程）とあわせて、
必ず記入・提出してください。

<記入上の注意>

- 1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- 2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

切り離さないでください。

振込金証明書
（貼付欄）

A 日程用

※

切り離さないでください。

切り離さないでください。

平成30年度(2018年度) 公立小松大学
写真票 (A日程)

学部 学科	学部 学科
ふりがな	
氏名	
性別	男・女
生年月日	平成 年 月 日生
※受験番号	

※印欄は記入しないでください。

写真貼付

4cm × 3cm
無帽・無背景
3ヶ月以内撮影
裏面に氏名、志望学科
を明記

平成30年度(2018年度) 公立小松大学
受験票 (A日程)

学部 学科	学部 学科
ふりがな	
氏名	
性別	男・女
生年月日	平成 年 月 日生
※受験番号	

※印欄は記入しないでください。

切り離さないでください。

平成30年度(2018年度)
公立小松大学入学志願書(B日程)

※受験番号

※印欄は記入しないでください。

志願学部 ・学科	学部		学科	
ふりがな	生年月日	昭和・平成	年 月 日生	
志願者 氏名	性別	男・女		
電話番号	自宅 () -	携帯 () -		
通知を 受ける 住所	〒 - 都 道 市 区 府 県 郡			
学校名	都 道 府 県	立	学科 普通科・理数科・農業科・工業科・ 商業科・総合学科・()	
	高等学校 学 校		昭和・平成 年 月	
保 護 者 連 絡 先	ふりがな	本人との続柄	<input type="checkbox"/> 卒業見込 <input type="checkbox"/> 高校卒業 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験(大検含む)合格 <input type="checkbox"/> その他()	
	保護者 氏名			
	住所	〒 - 都 道 市 区 府 県 郡		
	電話 番号	自宅 () -		携帯 () -

平成30年大学入試センター試験成績請求票
(※ 以下の枠にのり付けしてください。)

私・短
平成30センター試験成績請求票
私立大学・公私立短期大学用
貼付欄



※成績請求票のとおり、転記してください

試験場コード	受験番号	発行回数
□□□□□□□□	□□□□□□□□	□

※ 本学以外の国公立大学を受験する予定の方は、以下に受験予定大学名の記入にご協力をお願いいたします。

併願大学	大 学	大 学	大 学
------	-----	-----	-----

<記入上の注意>

- 1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- 2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

入学志願書（B日程）とあわせて、
必ず記入・提出してください。

<記入上の注意>

- 1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- 2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

切り離さないでください。

振込金証明書
(貼付欄)

B 日程用

※

切り離さないでください。

切り離さないでください。

平成30年度(2018年度) 公立小松大学
写真票 (B日程)

学部 学科	学部 学科
ふりがな	
氏名	
性別	男・女
生年月日	平成 年 月 日生
※受験番号	

※印欄は記入しないでください。

写真貼付

4cm × 3cm
無帽・無背景
3ヶ月以内撮影
裏面に氏名、志望学科
を明記

平成30年度(2018年度) 公立小松大学
受験票 (B日程)

学部 学科	学部 学科
ふりがな	
氏名	
性別	男・女
生年月日	平成 年 月 日生
※受験番号	

※印欄は記入しないでください。

切り離さないでください。

A 日程用

- * 太枠内に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を除く)の窓口で納入してください。振込手数料は志願者負担となります。
 - * 納入後、銀行領収印が押印されていることを確認し「振込金証明書(提出用)」を入学検定料振込証明書貼付用紙の所定欄に貼付して提出してください。「領収書」は、大切に保管してください。
 - * 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでもらってください。また、土・日・祝日は休業となりますので注意してください。
 - * ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。
 - * 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取りやめた場合は、返還手続きを行うことができますので平成30年2月28日までに下記までご連絡してください。なお、返還の際は「振込金証明書(提出用)」「領収書(本人控)」が必要となります。
- (担当:小松市総合政策部 公立大学設立準備室 TEL0761-44-3530)

振込依頼書			
ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	消費税込 手数料
先方銀行	北國銀行 小松支店	金額	¥ 1 7 0 0 0
預金種目	普通 口座番号 000357	金額	¥ 1 7 0 0 0
フリガナ	コマツシカイケイカンリシヤ		
名前	小松市会計管理者		
住所	小松市小馬出町91番地 (電話) 0761-22-4111		
※依頼人欄は志願者氏名及び整理番号を打電してください			
整理番号	9 1	整理番号には志願学科 コード番号を記入してくだ さい。	
フリガナ			
志願者名		生産システム科学科:10 看護学科:20 臨床工学科:30 国際文化交流学科:40	
住所	〒 (電話) -- --		
備考	入学検定料 (30年度 A日程)	受付印又は振替印	

* 手数料依頼人負担。
【志願者の皆さんへ】
郵便局・ゆうちょ銀行からの振込はできません。
ATM(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等
からは振り込まないでください。

* 太線の枠内のみボールペンで記入してください。

* 記入後訂正する場合(金額は除く)は、二重線で
抹消して捺印の上書き直してください。

振込金証明書(提出用)			
平成 年 月 日	金額	平成 年 月 日	金額
	¥ 1 7 0 0 0		¥ 1 7 0 0 0
整理番号		整理番号	
志願学科		志願学科	
志願者名		志願者名	
先方銀行	北國銀行 小松支店	先方銀行	北國銀行 小松支店
受取人	預金種目 普通預金	受取人	預金種目 普通預金
	口座番号 000357		口座番号 000357
	口座名義 小松市会計管理者		口座名義 小松市会計管理者
備考	入学検定料 (30年度 A日程)	備考	入学検定料 (30年度 A日程)
上記の金額正に受け取りました。			
(取扱店)		(取扱店)	
銀行		銀行	
支店		支店	
取得店受付印		取得店受付印	
		収入紙	

(取扱店→依頼人(志願者)→大学)

切り取らないで金融機関窓口までおたください。

領収書(本人控)			
平成 年 月 日	金額	平成 年 月 日	金額
	¥ 1 7 0 0 0		¥ 1 7 0 0 0
整理番号		整理番号	
志願学科		志願学科	
志願者名		志願者名	
先方銀行	北國銀行 小松支店	先方銀行	北國銀行 小松支店
受取人	預金種目 普通預金	受取人	預金種目 普通預金
	口座番号 000357		口座番号 000357
	口座名義 小松市会計管理者		口座名義 小松市会計管理者
備考	入学検定料(30年度 A日程)	備考	入学検定料(30年度 A日程)
消費税等振込手数料			
上記の金額正に受け取りました。			
(取扱店)		(取扱店)	
銀行		銀行	
支店		支店	
取得店受付印		取得店受付印	
		収入紙	

(取扱店→依頼人(志願者)→大学)

切り取らないで金融機関窓口までおたください。

B日程用

- * 太枠内に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局を除く)の窓口で納入してください。振込手数料は志願者負担となります。
 - * 納入後、銀行領収印が押印されていることを確認し「振込金証明書(提出用)」を入学検定料振込証明書貼付用紙の所定欄に貼付して提出してください。「領収書」は、大切に保管してください。
 - * 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので注意してください。
 - * ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。
 - * 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取りやめた場合は、返還手続きを行うことができますので平成30年2月28日までに下記までご連絡してください。なお、返還の際は「振込金証明書(提出用)」「領収書(本人控)」が必要となります。
- (担当:小松市総合政策部 公立大学設立準備室 TEL0761-44-3530)

振込依頼書	
ご依頼日	平成 年 月 日
先方銀行	北國銀行 小松支店
預金種目	普通 口座番号 000357
フリガナ	コマツシカイケイカンリヤ
名前	小松市会計管理者
住所	小松市小馬出町91番地 (電話) 0761-22-4111
※依頼人欄は志願者氏名及び整理番号を打電してください	
整理番号	9 1
フリガナ	整理番号には志願学科コード番号を記入してください。
志願者名	生産システム科学科:10 看護学科:20 臨床工学科:30 国際文化交流学科:40
住所	〒 (電話) - -
備考	入学検定料 (30年度 B日程)
*手数料依頼人負担。 【志願者の皆さんへ】 郵便局・ゆうちょ銀行からの振込はできません。 ATM(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からは振り込まないでください。	

* 太線の枠内のみボールペンで記入してください。
* 記入後訂正する場合(金額は除く)は、二重線で抹消して捺印の上書き直してください。

振込金証明書(提出用)	
平成 年 月 日	金額
整理番号	¥ 1 7 0 0 0
志願学科	9 1
志願者名	
先方銀行	北國銀行 小松支店
受取人	預金種目 普通預金 口座番号 000357 口座名義 小松市会計管理者
備考	入学検定料 (30年度 B日程)
上記の金額正に受け取りました。	
(取扱店)	取扱店受付印
銀行	
支店	
(取扱店→依頼人(志願者)→大学)	

切り取らないで金融機関窓口までおたください。

領収書(本人控)	
平成 年 月 日	金額
整理番号	¥ 1 7 0 0 0
志願学科	9 1
志願者名	
先方銀行	北國銀行 小松支店
受取人	預金種目 普通預金 口座番号 000357 口座名義 小松市会計管理者
備考	入学検定料(30年度 B日程)
消費税等振込手数料	
上記の金額正に受け取りました。	
(取扱店)	取扱店受付印
銀行	
支店	
(取扱店→依頼人(志願者)→大学)	

切り取らないで金融機関窓口までおたください。

平成30年度 公立小松大学入学志願書（一般入試 A日程・B日程）記入例

<記入上の注意>

- A日程志願者は、A日程用の用紙を使用してください。また、B日程志願者は、本例を参照し、B日程用の用紙を使用してください。
- 入学志願書の作成に当たっては、志願者本人が学生募集要項を熟読のうえ、記入してください。
- 記入は、必ず黒のボールペンを使用し、かつ丁寧に記入してください。
- 漢字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入し、該当する字句は○で囲んでください。
- 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し、訂正してください。修正液は使用しないでください。
- ミシン目は切り離さないでください。
- 記入・貼付などの不備があった場合は、受理しないことがあります。また、提出後は記入内容を変更できません。

○「通知を受ける場所」に、受験票や合格者への合格通知などを送付します。志願者本人と確実に連絡が取れる場所を記入してください。

○該当する項目を○で囲んでください。

○「保護者連絡先（氏名、住所等）」は、「通知を受ける場所」と異なる場合にのみ記入してください。

○大学入試センターから交付された「私・短 平成30センター試験成績請求票 私立大学・公私立短期大学用」を枠内に全面的り付けしてください。

○大学入試センターから交付された「私・短 平成30センター試験成績請求票 私立大学・公私立短期大学用」に記載されている番号を正確かつ丁寧に記入してください。

平成30年度(2018年度) 公立小松大学入学志願書(A日程)

※受験番号

※印欄は記入しないでください。

志願学部・学科	生産システム科	学部	生産システム科	学科	
ふりがな	こまつ じろう	生年月日	昭和 平成 11年 11月 11日	性別	男・女
志願者氏名	小松 次郎	性別	男・女		
電話番号	自宅 (0761) 00 - 1111	携帯	(090) 222 - 3333		
通知を受ける住所	〒923-8511 石川 都道府県 小松 市 区 四丁町又1番地3				
学校名	石川 都道府県 小松市 立	学科	普通科・理数科・農業科・工業科・商業科・総合学科・()		
保護者連絡先	小松中央 高等学校	昭和・平成	30年 3月		
ふりがな	こまつ たろう	本人との続柄	卒業見込 <input checked="" type="checkbox"/> 高校卒業 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験(大検含む)合格 <input type="checkbox"/> その他()		
保護者氏名	小松 太郎	父			
住所	〒923-8650 石川 都道府県 小松 市 区 小馬出町91番地				
電話番号	自宅 (0761) 44 - 5555	携帯	(090) 666 - 7777		

平成30年大学入試センター試験成績請求票 (※以下の枠に全面的り付けしてください。)

私・短 平成30センター試験成績請求票 私立大学・公私立短期大学用

※成績請求票のとおり、転記してください

試験場コード	受験番号	発行回数
123456	0987A	1

※ 本学以外の国公立大学を受験する予定の方は、以下に受験予定大学名の記入にご協力をお願いします。

併願大学	大学	大学	大学
------	----	----	----

<記入上の注意>
1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

入学検定料振込金証明書貼付用紙

入学志願書(A日程)とあわせて、必ず記入・提出してください。

振込金証明書 (貼付欄)

A日程用

※

<記入上の注意>
1 本紙は、汚したり、折り曲げたりしないでください。
2 記入する際は、黒のボールペンで正確・丁寧に記入をお願いします。なお、消せるボールペンは使用しないでください。

平成30年度(2018年度) 公立小松大学 写真票 (A日程)

学部	生産システム科	学部	
学科	生産システム科	学科	
ふりがな	こまつ じろう		
氏名	小松 次郎		
性別	男・女		
生年月日	平成 11年 11月 11日生		
※受験番号			

※印欄は記入しないでください。

写真貼付

4cm×3cm
無帽・無背景
3ヶ月以内撮影
裏面に氏名、志望学科を明記

平成30年度(2018年度) 公立小松大学 受験票 (A日程)

学部	生産システム科	学部	
学科	生産システム科	学科	
ふりがな	こまつ じろう		
氏名	小松 次郎		
性別	男・女		
生年月日	平成 11年 11月 11日生		
※受験番号			

※印欄は記入しないでください。

○全面的り付けしてください。

○写真の裏面には志願学科及び氏名を記入の上、のり付けしてください。